

地域の人たちの声が、ひとつになりました

土曜 伊深っ子クラブ



△受講者は、オリジナルの絵本CDをつくりました

地域の人たちが、子どもたちのために何かできないかと、検討してきたクラブが、伊深町にあります。

「土曜伊深っ子クラブ（以下クラブ）」が、そのクラブです。

このクラブは、地域の子どもたちを学校やPTAだけに任せるのではなく、地域で育てようという考えから、伊深小学校協力者会議（代表 遠山 登さん）（以下会議）が中心となり、昨年誕生しました。

この会議が学校週5日制導入のアンケートを実施したところ、「町内にスポーツ活動、文化活動があれば参加させる」という回答が、保護者から多く寄せられ、地域で子どもたちに豊かな体験がさせられないだろうかということからはじまりました。

現在、毎月第3土曜日の午前中に、伊深小学校のパソコン教室を利用して、パソコン講座が開催されています。



パソコン講座に参加した皆さんに感想を伺いました

美濃羽晴香さん（右）（6年生）
この講座でパソコンを使い絵本を作れたのが面白かったです。今では、パソコンの話が友達とできるようになりました。

長尾聡朗くん（中）（3年生）
家でお父さんがいなくても、パソコンが使えるようになりました。

藤田拓哉くん（左）（2年生）
短い絵本を作りましたが、今度は長い絵本に挑戦してみたいです。

昇ってインタビュー



子どもに対する気持ちのひとつになりました

伊深小学校協力者会議
代表 遠山 登さん
（伊深町）

この講座は、小学校と保護者、地元住民の気持ちで、「地域の子どもは、地域全体で育てようじゃないか」と、ひとつになりました。保護者の中には、子どもと一緒に、パソコンを習いたいという声もあると聞いています。こつした講座を通じて、地域社会が子どもたちを大きくおきつけになれば、最高だと思います。

今年は、動画製作にみんなで挑戦します

パソコン講座講師
角田雅人さん
角田ゆかりさん（伊深町）



開講当時は、参加された子どもさんの年齢にも幅があり、指導するのは難しかったですね。第1回目講座で、パソコンを分解して部品を見せてあげたとき、子どもたちが真剣に見てくれました。

その眼が印象的でした。昨年度は、パソコンで絵本作りに挑戦し、悪戦苦闘しながらも、それぞれすてきな絵本のCDができました。今年度は、アニメーションにも挑戦させてあげたいです。